



第38回北信越国民体育大会カヌー競技 兼  
福井しあわせ元気国体カヌー競技プレ大会  
【4月30日・九頭竜川特設カヌーコース(大野市角野)】



プレ大会開会式 (スキーセンター)

# おおの 議会だより

No.198 平成29年7月25日

▼  
▲  
▲  
▲  
▲  
▲  
▲  
▲  
▲  
▲  
▲

主な内容

6月定例会の概要	2ページ
一般質問の概要	3~7ページ
議案等の各議員表決	8ページ
常任委員会審査Q & A	9・10ページ
特別委員会報告	10・11ページ
委員会視察レポート	11・12ページ
第3回子ども議会を開催します!	12ページ

大野市議会では、ホームページでも議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報を掲載しています。  
ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会  
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
編集：議会だより編集委員会

# 6月 定例会市議会 概要

第403回定例会市議会は、6月5日から21日までの17日間の会期で開催されました。  
今回の定例会では、平成29年度の一般会計補正予算案、条例の改正、物品売買契約の締結など、全11議案のほか、継続分の陳情2件について審議しました。  
審議結果は、8ページのとおりでです。

一般会計予算に  
4億2625万円を  
追加

平成29年度一般会計当初予算に4億2625万円が追加され、予算の累計額が175億5697万円になりました。前年度と比較すると2・3割の減です。  
主な補正の内容は、下表のとおりです。

高規格救急自動車  
売買契約の締結

高規格救急自動車1台並びに積載品、付属品及び艀装（ぎそう）一式を購入する契約を認めました。  
契約額は、3022万円です。

補正のあった主な内容	補正額
★ 雑誌「ソトコト」と連携し、Uターン者等の発掘のため、首都圏在住者向けの連続講座を開催する経費	1368万円
★ 自治会等のコミュニティ活動用備品購入に対する補助（西山区、中村町区）	500万円
★ 和泉保育園、和泉児童センターを和泉小中学校に移転することに伴い、同校の改修に係る設計委託経費	178万円
★ いなやま認定こども園の新築、誓念寺中野こども園の改築及び大規模改修に対する補助	2億7356万円
★ 種子粉（もみ）乾燥調製施設の整備に対する補助	9090万円
★ 橋りょう点検診断業務、橋りょう補修工事等の事業費を増額する経費	1040万円
★ 市内小売店等が行うクレジットカード及び電子マネー用決済端末整備に対する補助	200万円
★ 環境・エネルギー教育に係る教材用備品を購入する経費（小山小、陽明中）	104万円
★ 旧橋本家住宅のかやぶき屋根のふき替え、老朽化部分の修理等を行う経費	461万円

## ●市議会を傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（4階）にお入りください。

次回、9月定例会の予定は次のとおりです。

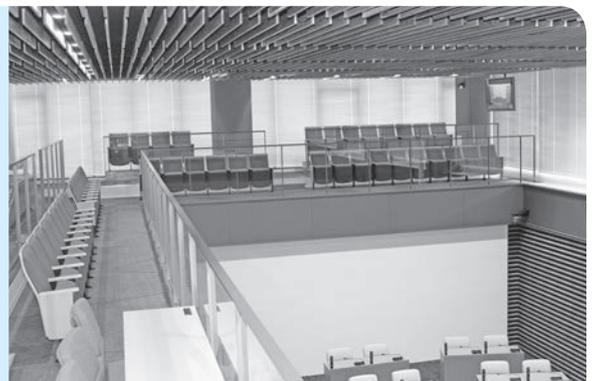
日程（案）	区分	審議等の内容
9月4日 月	本会議	議案上程、提案理由説明
11日 月	本会議	一般質問
12日 火	本会議	一般質問、決算特別委員会の設置及び委員の選任 請願・陳情上程
13日 水	委員会	10:00 産経建設常任委員会
14日 木	委員会	10:00 民生環境常任委員会
15日 金	委員会	10:00 総務文教常任委員会
19日 火	委員会	10:00 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会 13:00 人口減少・若者定住対策特別委員会
21日 木	本会議	各委員長報告 質疑・討論・採決

※予定のため変更になる場合があります。

※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせください。

（☎0779-64-4830）



## ●インターネット放映

本会議の様様をインターネットで録画配信しています。大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

ただし、閲覧の前には、免責事項をよくお読みいただきますようお願いいたします。特にスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますのでご注意ください。

# 県道皿谷大野線の中挟 交差点から、 国道157号バイパスの延長は



県で、本年度も交通量調査を行うことにより、  
計画道路の検証を行う

**問** 県道皿谷大野線の都市計画決定の理由と進捗（しんちよく）状況について聞きたい。

**答** 平成8年に中部縦貫自動車道大野インターが中津川地区に設けられることが決定され、交通量が当時の国道157号に集中することが予測されたため、これを分散させる受け皿として計画された。一般県道皿谷大野線の道路改良事業として、県で整備していただくよう平成26年度より要望している。

**問** 県は昨年度、将来交通量推計調査を行い、本年度は現況交通量調査し、計画道路の検証を行うなど、事業化に向け準備している。

**答** 自動車運転免許の自主返納者に対して、自動車購入補助の考えはないか。

**答** 自動車運転免許自主返納支援制度があり、65歳以上で運転免許を自主

的に返納された方に、有効期間が10年間の乗合タクシー、まちなか循環バス等の無料乗車券を交付している。平成28年度末で、318人が免許を返納している。自転車は手軽に利用でき、経済性にも優れているが、自動車と同様、安全性の確保の観点から、購入に対する補助制度は、現在のところ考えていない。

**問** 東日本大震災などで避難者の対応が問題となったのは、トイレ等の衛生環境面や、飲料水・食料不足であったが、この対応はどうか。

**答** 県では、阪神淡路大震災と同規模の災害が発生した場合、本市の避難者数を2600人と想定し、物資を、県が3分の1の900人分、本市が3分の2で1700人分の備蓄基準を示している。

**答** 食料のアレルギード対策を、今後の購入時に対応していく。

誠和会・公明党

宮澤 みやざわ

秀樹 ひでき  
議員

# 第2期大野市中心市街地活性化基本計画 最終年第3期はあるのか



基本計画は終了するが、  
継続事項は別の事業として行う

**問** 第2期大野市中心市街地活性化基本計画の進捗（しんちよく）状況は。

**答** 87の事業のうち、平成28年度末までに29の事業が完了し、55の事業が実施中となっている。

**問** 目標である「まちなか観光による交流人口の増加」と、「商店街を中心としたまちなか生活の充実」の指標については、目標達成は可能と考える。

**答** しかし「豊かな暮らしを支える公共交通の実現」の指標については、目標達成は困難な状況となっている。

**問** 第3期大野市中心市街地活性化基本計画は策定されるのか。

**答** 事業は、2期10年で終わりである。3期は無く、補完するために、立地適正化計画を今年度立て、都市再生整備計画の準備に入っているとこ

**問** 中部縦貫自動車道の

**答** 大野ICから福井北ICまでの開通が、本市の経済にどのように影響するの

**問** 観光振興と産業振興が挙げられる。得られるメリットは、市外への多少の消費流出の影響を補って余り有ると考えている。

**問** 中部縦貫自動車道の着工からの過程を経てきた現在の所信として、どのような変化や影響を考

**答** 交通量の分析により既存路線の渋滞緩和がなされ、通勤時間が短縮されることで、通勤圏域が広がる。また救急車での病院搬送時間の短縮や、走行性の向上による患者負担の軽減など、医療サービスを含め、利便性が向上すること、本市への移住、定住の促進にもつながるものと考えている。

天空おおの

高田 たかだ

育昌 やすまさ  
議員

一般質問



# 「水への恩返し財団」で 各事業を行う市民のメリットは

## 機動的かつ多様な方々を巻き込んで 行うことが容易



天空おおの

梅林 うめばやし

厚子 あつこ  
議員

- 問** 仲介者がいる寄付行為は、市民への透明性が失われる。寄付が本当に東ティモールに届けられているのか。
- 答** 日本ユニセフ協会を通じて、適切に支出している。
- 問** CWP（キャリアングウォータープロジェクト）事業によって市に入るべき税金が減少するのでは。
- 答** 寄付金なので当然、所得税法、住民税法上、寄付控除になる。
- 問** 寄付控除により、市には所得税、住民税が入ってこないのでは。
- 答** 住民税分の寄付金控除は入らないが、税額として基準財政収入額が減り、75%は交付税で入る。
- 問** CWP、ユニセフとの契約は3年。その後については。
- 答** 3年間しつかりと取り組む。その後は、現時点で方針は無く、今後検討する。
- 問** グラウドファンディングでも、いいのでは。
- 答** それも一つの方法だが、ガバナンスの下で、情報を的確に出していれば問題はない。
- ※クラウドファンディング 不特定多数の人が、インターネット経由で他の人々や組織に財源等の提供を行うこと
- 問** 名水マラソンのランナーから1キリ相当たり10円の寄付金をいただくことに対しての、公的な手続きが必要ではないのか。
- 答** エントリーの案内文書で、周知している。
- 問** 市長の提案理由で「東ティモールの子どもとの交流」とはどのようなものか。
- 答** 科学技術振興機構とも相談し、東ティモールの子どもを本市へ招けいかと考えている。

# 公共施設使用料の減免が8割、一部の市民が 不利益にならない仕組みが必要では

## 消費税率アップに合わせて使用料を見直し、 実際に実のある減免を検討したい



清風会

廣田 ひろた

憲徳 かすのり  
議員

- 問** 平成28年度の主な施設の利用状況と利用料減免の状況について、分かる範囲で聞かせてほしい。
- 答** 全公共施設において施設の利用状況や管理運営経費、施設使用料などの推移について現状分析作業を行っているところである。これが、まとまった段階で、施設稼働状況や利用者負担額について、示していきたいと考えている。
- 施設の使用料については、第七次大野市行政改革大綱や大野市公共施設等総合管理計画に基づき、受益と負担のバランスを十分に考慮しつつ、消費税率の引き上げのタイミングに合わせて見直しを図る方針である。
- 使用料の減免について、これに合わせて検討していきたい。
- 問** 和泉保育園と和泉児童センターを和泉小中学校に移転することでのメリットは。
- 答** 和泉保育園と児童センターが入っている和泉地域福祉センターを平成30年度に解体する予定であり、移転は、それに伴うものである。
- 移転の概要として、保育所部分は、和泉小中学校の1階部分の一部を改修して、保育室と幼児用トイレ、調理室を設けることとしている。
- また児童センターについては、同じく1階の一部を改修して利用する予定としている。
- 実際に児童センターや保育所の老朽化に伴い、新設することに比べて、安い金額で移設ができ、和泉地区の子どもたちが年齢を超えて触れ合う時間が増え、より豊かな心の醸成が期待できるものと考えている。

# 地方創生、地域再生のかじ取り役、主人公は誰か



天空おおの  
かねい  
兼井  
まさひろ  
大議員

## 住民一人一人にほかならない

**問** ハード重視の事業の限界を認識し、市民の自立的な振興が人口減少社会での最も重要な地方創生、地域再生のかぎになる。

**答** ソフトの基盤整備や行政の役割を生かした協働、地域コミュニティの再生を進め、住民の手による持続可能な地域づくりを進めるために、住民が地域経営のかじ取り役、主人公であると自覚することが重要ではないか。

**答** ソフト的な取り組みも重要だが、インフラ整備が全国水準から遅れた大野では、ハード整備にも注力すべきである。ハードがあつてこそ、ソフトが輝く。行政は住民福祉の向上を使命とし、業務の中で必要に応じてリーダーシップを発揮することも重要である。

**問** そのリーダーシップが、市民が参加するさまざまな協議会等で作られた計画を、「この計画は素晴らしいのでご理解いただきたい」では、住民の当事者意識がどんどん薄れていくが、どう考えるか。

**答** いかに、より深く広く住民と双方向のやりとりができる取り組みを図れるか、しっかりと検討し進めたい。

**問** 地域課題の調査・分析、優先順位の決定、解決方法まで行政が準備する進め方に問題がある。

**答** 住民が地域の未来を真剣に話し合う環境整備に対し、行政がリーダーシップを発揮すべきではないか。

**答** 地域の核として、公民館機能の強化や活動の活性化に向け、取り組みを進める。

本年度は、公民館を中心に地域での座談会開催を考えている。

一般質問

# 農業集落排水処理施設の 住民の料金負担軽減への取り組みは

## 維持管理を一括して民間委託し、 効率的な保守点検を行う



無党派  
ほりうち  
堀田  
しょういち  
昭一議員

**問** 農業集落排水処理施設について、住民の料金負担を最小限にするため、人口減少や収支見通しを踏まえた施設の規模の縮小化、維持管理の施策は何か。

**答** 全15処理施設の維持管理を一括して民間委託し、効率的な保守点検などで、維持管理費の抑制を図っている。

また平成28年度から3カ年の計画で、全処理施設の機能診断調査を実施して、施設機能の保全計画となる最適整備構想を策定し、設備の長寿命化を図り、長期的に維持管理経費を軽減していく。

**問** 公共施設等総合管理計画が終了する平成38年度から、一般会計規模の施設更新費用が掛かることになるが、その見解は。

**答** 財政や人口規模に応じた施設総量の縮減や施設の複合化と効率的な運営を図り、公共施設再編計画の改訂や総合管理計画に基づく個別施設計画の策定作業の中で検討し、中長期的な財政負担の軽減と平準化に取り組む。

**問** 橋りょうについて、定期点検状況と結果、また設置から50年以上経過している数と、架け替えの予定はどうか。

**答** 平成28年度までに267橋、本年度は約120橋の定期点検を実施し、30年度までに全ての橋りょうの1回目の定期点検を完了する予定である。これまでの点検の結果、緊急に修繕を要するものはない。

架設から50年以上経過しているものは、34橋で、鞍ヶ橋、稲郷橋、皿橋の3橋の架け替えを予定している。



# 救急デジタル無線工事の 公正取引委員会の談合排除措置命令の効力は

## 本市の工事には、契約約款46条の2や50条は 適用できない

**問** 今年2月2日に、公正取引委員会は、消防救急デジタル無線機器の製造販売業者に対する排除措置命令と課徴金納付命令を公表した。

本市の消防本部が平成25年7月23日に執行した入札が該当になるとのことだが、今後の対応について質問する。

**答** 総務省の告示により、アナログ通信の使用期限が平成28年5月31日になり、26年4月から市は救急デジタル無線の運用を開始している。

こうした中、公正取引委員会は、全国の自治体が発注した消防救急デジタル無線工事において、富士通ゼネラル、日本電気等5社が独占禁止法に違反する行為を行ったとして、5社に対して排除措置命令を、4社に対して総額63億円の課徴金納付命令を出した。

市は、工事の契約を県内業者としていて、違法とは認められないが、納入機器は富士通ゼネラルの製品である。

**問** この問題を取り扱ったのは公正取引委員会であり、市が執行した入札が談合の不正行為があったと指摘しているのではないか。

全国では、宇佐市や豊後大野市等は認定されて、宇佐市は、6800万円の損害賠償の請求を決めている。

**答** 市が契約した相手方は県内業者であり、談合の指摘の対象にはならず、市の工事請負契約約款の適用は難しいと考えている。公正取引委員会から指摘を受けた業者とは、国や他自治体も同じ契約をしているので、全国的な動きの中で的確に対応していきたい。

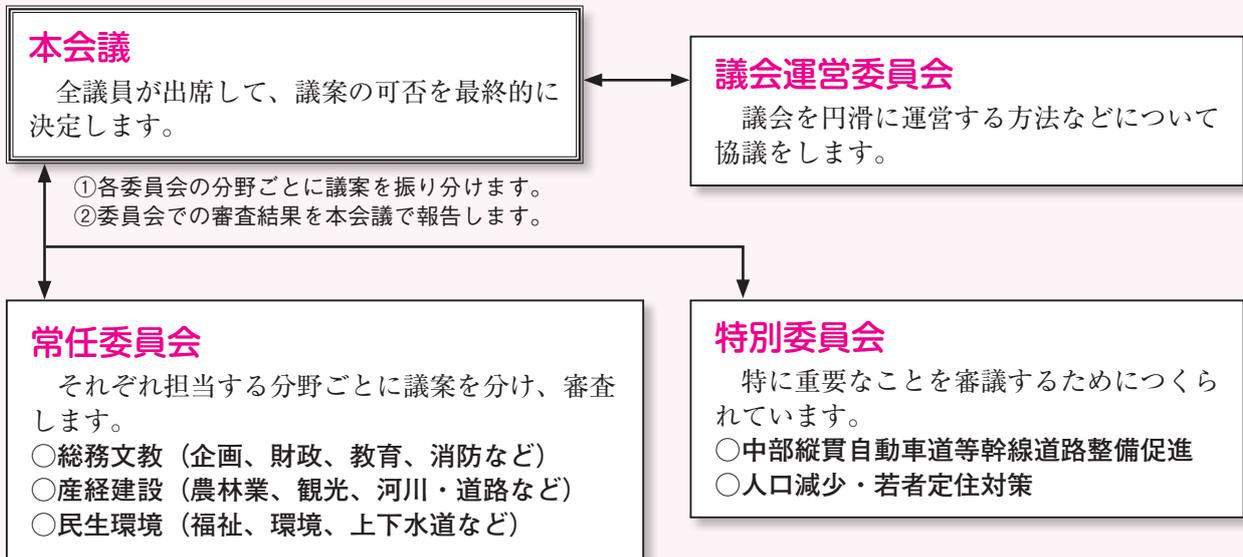
日本共産党大野市議団

栄 さかえ  
まさお  
議員

一般質問

## 市議会のしくみ

市議会には、毎年必ず4回開かれる会議があり、これを「定例会」といいます。定例会は、おおむね3月・6月・9月・12月に開かれます。定例会中では、「本会議」と「委員会」が開催されます。本会議は、議員全員で構成される会議で、議案の可否を最終的に決定します。なお、議会の意思は、通常、出席議員の過半数で決定します。委員会には「常任委員会」・「議会運営委員会」・「特別委員会」があります。18人いる議員はいずれか1つの常任委員会の委員になっています。



# 平成29年6月第403回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田昭一	野村勝人	廣田憲徳	高田育昌	山崎利昭	松田元栄	永田正幸	梅林厚子	川端義秀	宮澤秀樹	藤堂勝義	松原啓治	高岡和行	島口敏榮	兼井大	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市長提案 出議案	29	平成29年度大野市一般会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	大野市過疎対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31	大野市和泉体育施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32	大野市まちなか交流センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	33	越前おおの結ステーション設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	34	高規格救急自動車売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度大野市一般会計補正予算（第6号））	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	36	専決処分の承認を求めることについて（大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	37	専決処分の承認を求めることについて（大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	38	専決処分の承認を求めることについて（福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合理約の変更について）	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	訴えの提起について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情（継続分）	5	県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情	不採択	否	賛	否	否	/	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	
	7	教員の働き方の改善に関する陳情書	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣

（議長（山崎利昭氏）は採決に加わらないので「/」で表示。）

議案に賛成○、反対×。

陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

## ●請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨（具体的に）
  - ②提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
  - ③請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）
- 詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

☎0779-64-4830

## ●委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局までお申し出ください。なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。

産経建設

(廣田委員長、川端副委員長、堀田、宮澤、高岡、畑中)



(仮称) 結の故郷化石発掘センター (建設中)

**(仮称) 結の故郷 化石発掘センターの整備**  
**Q** 化石発掘センターの名称については、同センターを市民に周知するためにも、小中学校の児童・生徒など、市民に対して、幅広く施設の名称の公募を行うことが重要ではないか。  
**A** 10月末の完成に向けて、今後、設置条例案の作成など、供用開始に向けての必要な準備を行って

**越前おおの みずコトア カデミー事業**  
**Q** 本市に興味を持ってもらい、住んでもらうことが事業の最終の目的であり、事業を実施するに当たっての、本市としての基本的なコンセプトや、移住定住希望者への受け入れ態勢はできているのか。  
**A** 所管する建設整備課湧水再生対策室だけではなく、移住定住の相談窓口となる結の故郷創生室など、庁内連携をして取り組んでいく。



六呂師スキーパーク

**市営住宅について**  
**Q** 中津川の市営住宅については、施設の老朽化が進んでおり、また耐震補強を実施しない用途廃止対象物件のため、地震災害に対しての安全面が確保されていないので、一日も早く雇用促進住宅へ転居を進めてもらいたい。  
**A** 入居者の転居に向けた一層の取り組みを、引き続き、進めていく。

六呂師スキーパークの整備

民生環境

(兼井委員長、梅林副委員長、野村、永田、松原、砂子)

**認定こども園の新築、改築等に係る市の助成**  
**Q** 来年、認定こども園に移行予定の民間1園の新築費用及び、本年4月に認定こども園に移行した民間1園の改築等の助成の必要性は。  
**A** 現在、0歳や1歳といたった低年齢からの入園が増加しているため、大野市子ども・子育て支援事業計画で設定している「教育・保育の量の見込み」を上回る状況にある。従って、施設整備による定員の拡大等が必要である。



誓念寺中野こども園

**また施設整備をすること、子どもの安全・安心な保育環境が整うなど、市の方針と整合性がとれたものであり、市としても支援していきたい。**  
**◎委員からの意見**  
 本年度、大野市障害児福祉計画を策定するに当たり、障害児の自立促進、休暇中の居場所づくりの推進、将来の就労環境の支援に向け、障害児の生活の現状をきめ細かく把握し、課題を整理し、計画に反映してほしい。

おこし協力隊の皆さまの、移住定住にもつながるような仕組みを、構築していただきたい。  
**◎委員からの意見**  
 事業を委託する会社から、移住定住につながるノウハウを、しっかりと学んでいただき、移住定住者の増加につながる仕組みを本市独自で構築できるように、例えば、地域

## 農業集落排水施設の将来の健全経営

**Q** 本年4月から、3処理区の使用料金を改正しているが、全ての処理区について、人口減少に伴う利用者の減少や、施設の老朽化による修繕費の増など、将来の施設の経営状況はどうなるのか。

**A** 本年4月からの使用料金の改定については、昨年実施した収支のシミュレーション結果に基づき、今後の収支バランスを図るためにこれを行ったものである。

また現在、各処理施設の機能診断調査を実施中であり、その結果を基に最適整備構想を策定する。この構想に基づき、施設の長寿命化や維持管理費用の削減などを図っていききたい。

## 総務文教

(松田委員長、高田副委員長、山崎、藤堂、島口、榮)

## 旧橋本家住宅の保存整備

**Q** 雪害に遭った旧橋本家住宅は国の重要文化財

だが、修繕はだれが行うのか。

**A** 所有者である市が、文化庁などの指導を得て行う。

**Q** 継続費で予算を組んであるが、耐震診断も行うのか。

**A** 耐震診断に必要な構造的な図面の作成は今年度行い、診断の実施は来年度行う予定である。

**Q** 相当の経費を掛けて修繕を行うが、施設の来場者数が近年減少傾向であり、どのように考えているのか。

**A** 修繕の補助金を受けるとは、施設の公開が義務付けられている。文化財の保全と公開について吟味しながら管理の方法等について検討していききたい。

## ◎委員からの意見

重点道の駅「(仮称)結の故郷」の供用開始を見据えて、曹洞宗第二道場の宝慶寺とともに、市の周遊観光ルートの一つとして、誘客につながるようアピールしていただきたい。

## 古民家ギャラリーに展示する絵画の管理



事業着手前の古民家ギャラリー

**Q** 五番通りで整備している古民家ギャラリーに展示する個人の絵画などの管理や保証を、どのように考えているのか。

**A** 絵画を借りるときには、所有者と借用契約書等を取り交わす予定である。

施設のセキュリティに関しましては、電子錠や監視カメラの設置などについて検討している。絵画や建物に対しての保険についても、保険会社などと協議して決めていきたい。

## 滞納者を訴えるのに長かった理由

**Q** 市有地賃貸料の滞納と土地の明け渡しについて、賃貸者を訴えに至るまで長かった理由は。また訴訟でなければ解決しないのか。

**A** 滞納が始まり約10年経っている。支払いについて、相手方に対して、これまで直接出向くとともに、電話で催告したり支払いの誓約書も取るなどして、債権の回収に努めてきた。

しかし、納入が無く、滞納額は膨らむ一方となり、相手方が建てた建物の撤去も必要であることから、強制力を伴う法的手段で、解決を図ることとした。

## 中部縦貫自動車道

永平寺大野道路の永平寺・上志比間が、7月8日に開通し、北陸自動車道と本市が直結される。

大野油坂道路の大野東・和泉間では、(仮称)荒島第一トンネルの本格的な掘削工事に向け、下唯野側坑口の法面工事や猿ヶ谷橋の下部工事などが進められている。

本年度は、(仮称)荒島第二トンネルや(仮称)下山トンネル工事に着手するとのこと。

当委員会としても、平成34年度の全線開通に向け、安定的な予算確保がなされるよう理事者とともに積極的な要望活動に取り組んでいく。

## 大野市重点道の駅

### 「(仮称)結の故郷」

指定管理予定者については、4月の選定委員会において、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社に決定した。今後は、平成32年の供用開始に向け、指定管理予定者と連携し、実施設計や施設の企画、運営

管理方法の検討を行っていきたいとのこと。

委員からは、年間多額な指定管理料を支払うならば、本市の経済の発展、雇用の創出、交流人口の拡大など、より大きなストック効果が生まれるような施策を立案していただきたいとの意見が述べられた。

また本「道の駅」は市内の回遊性を高める拠点となる重要な施設であることから、32年度の供用開始ということを考える

と、早期に具体的な回遊メニューについて立案し、その検討結果を随時、当委員会に報告されたいとの意見が出された。

## ▼人口減少・若者定住対策

(松原委員長、堀田副委員長、野村、松田、永田、梅林、宮澤、兼井)

大野市総合戦略の四つの柱のうち、2番目の柱の「新しいひとの流れをつくる」に関連する事業について説明を受けた。

## ◎委員からの主な意見

・地域おこし協力隊員は、

## 特別委員会 報告

### ▼中部縦貫自動車道等

#### 幹線道路整備促進

(島口委員長、藤堂副委員長、廣田、高田、川端、高岡、畑中、榮)

商工観光振興課や農林薬舎、観光協会において活動しているとのこと。

他自治体では、協力隊員の多くが、自治体内の各地区活動においても活躍し、隊員としての活動終了後の定住にもつながっている。本市においても、定住人口拡大や公民館機能の充実などに向けて、さらなる協力隊員の活用について、検討いただきたい。



観光案内に携わる地域おこし協力隊

・結の故郷奨学金の貸与制度の成果として、奨学金の貸与者で、平成27年度末の4人の卒業者のうち2人が帰郷しており、返済額の半額を免除としているとのこと。

市外の就学者が、大野への帰郷を選択するには、奨学金の減免制度もさることながら、本市での働く場の確保が非常に重要であり、企業誘致部署など、庁内の中で連携して取り組んでいっていただきたい。

外国人観光客のための観光パンフレットの多言語化では、内容は日本語パンフレットと同様であるとのこと。

観光パンフレットを製作するに当たっては、先進地の事例も調査・研究し、外国人観光客のニーズに応えたものを作製されたい。

## 委員会 視察レポート

### ▼民生環境

5月15日～17日に実施しました。

大阪府和泉市では、市民を中心とした医療と介護の連携推進条例を制定しています。  
市民が生涯にわたって



奈良市での研修

住み慣れた場所で自分らしく安心して暮らすことができるように、医療と介護に関わる専門職が一体となり、質の高い支援が提供される体制づくりに取り組んでいきました。  
奈良市では、平成27年度に開設した子育て世代包括支援センターについて研修をしました。  
本年度から、専任のコーディネーターを配置し、医療機関などの関係機関と連携をとりながら、妊娠期からの早期の切れ目のない支援に取り組んでいます。  
また奈良市では、子育て

て@なら」を開設しています。「鹿」をキャラクターにして子育て情報を発信するなど、市民に親しみやすいサイトとなっています。  
京都府長岡京市では、環境づくりの市民力アツプを図るため、環境検定を実施しています。  
この検定により、幅広い世代の環境意識の喚起や環境学習のきっかけにもつながっています。  
奈良県生駒市では、医療費の適正化のため、\*ジエネリック医薬品の利用促進に積極的に取り組んでいます。  
ジエネリック医薬品推奨薬局制度の導入やバスの車内での音声案内広告の実施など、独自の取り組みをしています。  
\*ジエネリック医薬品  
先発医薬品の特許が切れた後に発売される医薬品で、主成分は先発医薬品と同じ

### ▼産経建設

5月23日～25日に実施しました。  
観光庁では、インバウ

ンド対応支援補助事業について研修しました。  
地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業として、観光拠点情報・交流施設・観光案内所・手ぶら観光カウンター機能向上や公衆トイレの洋式化等について、また宿泊施設インバウンド対応支援事業として、\*インバウンド 訪日外国人旅行



観光庁での研修

長野県飯山市では、信州9市町村の広域観光の取り組みについて研修し

ました。  
観光体験メニューとして、「森の中のヨガ」や「冬期間でも乗れる自転車」など、大自然を活用した多くの体験メニューがNPOや民間団体で作られており、飯山駅にある観光交流センターで相談しながら、自分に合ったメニューを選べるなど、観光協会をはじめとする関係機関と市がタイアップした取り組みを進めています。



飯山駅にある観光交流センターを視察

石川県能美市では、6次産業化の取り組みについて研修しました。  
能美市の主な6次産業

## 第3回大野市子ども議会を開催します！

第3回大野市子ども議会を下記のとおり開催します。

市内各小学校から1人が子ども議員となり、市の行政に対して質問や提案をし、市長をはじめ市の幹部職員がそれに答えます。

また参加する子ども議員から議長、副議長を選出して、子ども議員自らが会議を進行するなど、実際の議場を会場に本会議と同様の運営をしますので、緊張感が漂う中、小学生独特の視点でのやりとりが行われます。

**どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。**

なお、傍聴は、議会事務局（3階）において、当日の開催前に受け付けます。※傍聴の事前の受付は行いません。  
※傍聴席に限りがありますが、満席となった場合でも、庁内にあるモニターで視聴していただくことができます。

開催日時 8月18日(金) 午後1時30分から  
開催場所 大野市議会 議場  
参加者 子ども議員10人  
市長、副市長、教育長、部長級職員、  
市議会議長、副議長、議員

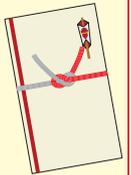


加工品としては、丸イモ、ハトムギ、ユズを原料としたものがあり、加賀丸も焼酎、丸いもココロツケ、ブレンドはとむぎ茶（ペットボトル）、ゆずドリシクやゆずみそドレッシングとして、それぞれ加工して販売されるなど、農産物の付加価値化を目指した6次産業の推進が図られています。  
※6次産業化 農林漁業者自らが生産だけでなく、加工・流通販売を一体的に行ったり、農林漁業者と商工業者が連携して事業を展開する、農林漁業の可能性を広げようとする取り組み

### 寄付行為の禁止

議員は、お祭のときなどにお金を寄付したり、お酒を届けることを禁止されています。

有権者が求めてもいけません。  
(公職選挙法の規定)



## 福井しあわせ元気国体 大野市開催競技のプレ大会が開催されます！

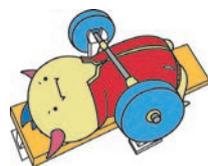


### ★相撲

大会名：第56回全国教職員相撲選手権大会  
開催日：平成29年8月20日（日）  
時間：午前9時00分から午後3時30分まで  
会場：大野市エキサイト広場総合体育施設

### ★自転車（ロードレース）

大会名：第52回全国都道府県対抗自転車競技大会  
開催日：平成29年8月26日（土）  
時間：午前7時45分から午前11時00分ごろまで  
会場：大野市特設コース（市内一円）  
スタート・フィニッシュ：結ステーション



## 福井しあわせ元気国体 2018 福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

### 編集後記

記憶に新しい平成24年7月の九州北部豪雨では、熊本、福岡、大分の3県で30人の尊い命が犠牲となりました。本年も7月5日より、九州北部で数時間にわたる猛烈な雨を降らせ続ける「線状降水帯」と呼ばれる積乱雲の帯が発生して記録的な豪雨となり、流れ込んだ大量の土砂や木々などにより大きな被害がもたらされ、多くの方々の尊い命が犠牲となりました。亡くなられた方々に対し、ご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた方々に対し、お見舞いを申し上げます。  
大野市では、城下町南広場8月6日の日曜日午前8時30分より、大野市総合防災訓練が開催されます。たくさんの方々の皆様にきていただき、いつ起こるか分からない災害に備えて、地域やご家族の人と日ごろから話し合い、できることから取り組んでいくきっかけとなればと思います。

（座長 廣田 憲徳）

### 議会だより編集委員会

委員 廣田 憲徳  
野村 勝人  
高田 育昌  
宮澤 秀樹  
松原 啓治

※次回は、10月下旬の発行を予定しています。